

## 令和2年度第2回図書館協議会会議録

■ 日 時：令和2年10月20日（水）14時から15時まで

■ 場 所：中央公民館 視聴覚室

■ 出席者：委員（小木曾文夫、安藤雅哉、小木曾恵美、正村京司、井籠礼子、井上典子）  
図書館指定管理者（理事長 安藤昇、館長 早川美幸）  
事務局（社会教育課 大山雅喜、宮地恵理子、榊原勝哉）

■ 欠席者：委員（田中真奈美、酒井順一）

■ 傍聴者：1名

● 内容（記録）：

### 1 あいさつ（会長）

本日は令和3年度の事業計画があるので皆さんのご意見をいただき来年度の要望や計画に上げていきたい。

### 2 協議事項 議事進行：小木曾文夫（会長）

#### （1）令和3年度市民図書館活動計画等について

計画の前に、新型コロナウイルス感染症対策について説明。4月初めから5月25日まで臨時休館とし、休館の間、「おうちで図書館」と称してインスタを活用したおすすめの本の紹介や本のソムリエなどを実施した。5月26日から予約のみ貸し出しを始め、6月2日から順次制限を緩和しながら開館している。返却図書は、ボランティアの協力を得て消毒作業を実施している。10月1日からは寄贈本の受取りを開始した。10月20日からは滞在時間の制限を無くし、「長時間の滞在はご遠慮ください」としている。閲覧席と学習室の席は数を減らして利用していただいている。貸し出しについても、4月は3千冊以下だったが8月には1万5千冊の貸し出しへ回復し、通常へ戻りつつある。来年度も、今まで通りの新型コロナウイルス感染症対策を講じていけばよいのか、事業計画の中でも相談していきたい。

図書館指定管理者より資料1～2ページに基づき説明

事業計画について、図書の購入は今まで通りで行いたい。雑誌については検討中。現在購入や寄贈で100冊/月となっている。

委 員：コロナの影響で子どもたちが本と接する機会が減っている。小中学生はどのくらい来館しているのか。

図書館：土日は親子連れの来館が増えてきている。平日は、幼稚園、幼児園帰りの親子が来館しているが、小中学生の来館が少ない。特に学習室の利用が少ないので懸念していたが、これからは時間制限がなくなるので利用も増えるのではないかと期待している。

委 員：雑誌についてどのような雑誌を購入しているかわからないが、本当に必要な雑誌なのか。

図書館：雑誌については、図書館要覧の26ページに購入、寄贈された一覧が載っている。同じようなものであったり、これは必要なのかと思うものは利用状況など勘案して見

直していく。

委員：インスタなどを活用しているところが評価できる。図書館まつりはどのようなことをしているのか。

図書館：図書館まつりについては、夏休みに4日間火曜日から金曜日までの夜7時から8時まで開催した。リサイクル本市その他には、子ども向けの物づくりや、読み聞かせをしている。時間帯が閉館後のため普段来られないお母さんお父さんや40人くらいの子どもたちがきて盛り上がった。4日間連続で来る子どももいた。スタンプカードを作って皆勤賞の子にはちょっと楽しいものを渡している。子どもが親を引っ張ってきている子もいた。

委員：図書館まつりの宣伝方法は広報のみか。

図書館：広報に加えてチラシを学校などに送っている。

委員：公民館には送っているか。

図書館：A5サイズでチラシを送っている。

委員：ボランティア講座について、もう少し詳しくどのようなことをされる予定か教えてほしい。

図書館：ボランティア講座については年2回行う予定。1回目は、図書館ボランティアの内容、2回目は、読み聞かせのボランティア養成を計画している。

委員：公民館で分室を担当しているが、このコロナの影響で4、5月は全然貸出がなかった。6月は、徐々に増え、9月では50冊、10月は110冊と貸し出しが増えてきている。図書館もコロナ禍で図書館まつりなど企画をされているが、子どもの数が減ってきて小中学校が統合されている中、分室でも子どもを集めたものを何かやりたいと考えている。何かアイデアがあれば教えてほしい。

図書館：リサイクル本は今まで、何千冊も溜めておいて図書館まつりで一気に出すような方法をとっていたが、それは人が密集し3密を回避できないのでこれからはできないと考えている。リサイクル本を分室や地区公民館へ持っていき、イベントの時に参加させていただくこともできるのではないか。また、各地区に残っている昔話を大きな紙芝居にしたものがあり、現在、大変古くなってきているので、ボランティアの人が修理を行っている。それが完成したら地区の文化祭などに参加してお披露目したいと考えている。

## (2) 令和2年度蔵書点検結果報告

図書館：今回の蔵書点検で不明資料となった資料は50件であった。不明資料とは、貸し出して返ってこないものではなく、盗難された本のことである。新システムで加わったセルフ貸し出し機能により、職員が関わらないため、貸出手続きをせずに持ち出しやすくなるのではと心配していたが、影響はなかったと判断している。不明資料で多いのは、料理や手芸、パソコンなどの実用本である。そのような資料は、できるだけ職員の目の届く位置に配置するなど対策をしてはいるが、完全には防げていない。必要なページだけを切り取ってしまう人もいる。

委員：セルフ貸出機能についてももう少し詳しく教えてほしい。

図書館：新システムでは、自分で貸出処理ができる機能が加わった。このセルフ貸出機能を使

えば職員の目に触れないため、借りにくいと感じる本でも借りることができるようになった。全国的にも導入しているところは多い。子どもたちも使っている。

委員：盗難防止装置を取り入れることはできないか？

図書館：チップと一緒に帯のような磁気テープをいれる方法もあるが、高額となるため。費用対効果を考えると導入は厳しい。全国的にも普及はしていない状況。

委員：盗難などの実態を知らせた方が抑制効果にもつながるのではないか。

図書館：市報や図書館だよりの中に載せて、実態をアピールしていきたい。

### (3) その他

事務局：今週末より美術展を開催する。会期は木、金、土曜日の3日間行う。例年並みの出品数があった。また、中央公民館文化祭も11月7日、8日に行う。3密を避けるためリアルタイムでの発表はできないが、前撮りをして当日に上映をする。人が来ていただかないとなかなか成立しないが、あまり来てくださいとも言えず難しいところではあるができる限りの方法で行いたい。自主事業として11月22日に落語の事業がある。このチケットを発売したところ2週間ほどで完売した。席は満席だと780席ほどあるが1席ずつ空けて350席にしてチケットを売った。今後もこのようにして780席座らせるのは厳しいので1席ずつ空けて対応していく。現在瑞浪市では、平成29年度に瑞浪市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の再編を進めており、今後50年間で公共施設の延床面積の30%減をめざしている。学校、幼稚園、文化施設、市営住宅など含めたすべてが公共施設であり、これらの延床面積を減らしていく。同時に瑞浪駅周辺の再開発計画があり、駅の北側に核となる公共施設を作る計画でその中に文化ホールと図書館も入っている。公共施設再編成プランについてパブリックコメントが12月から始まることとなっている。図書館協議会委員の立場として、図書館を移設するうえでの要望など今後お知らせください。

以上